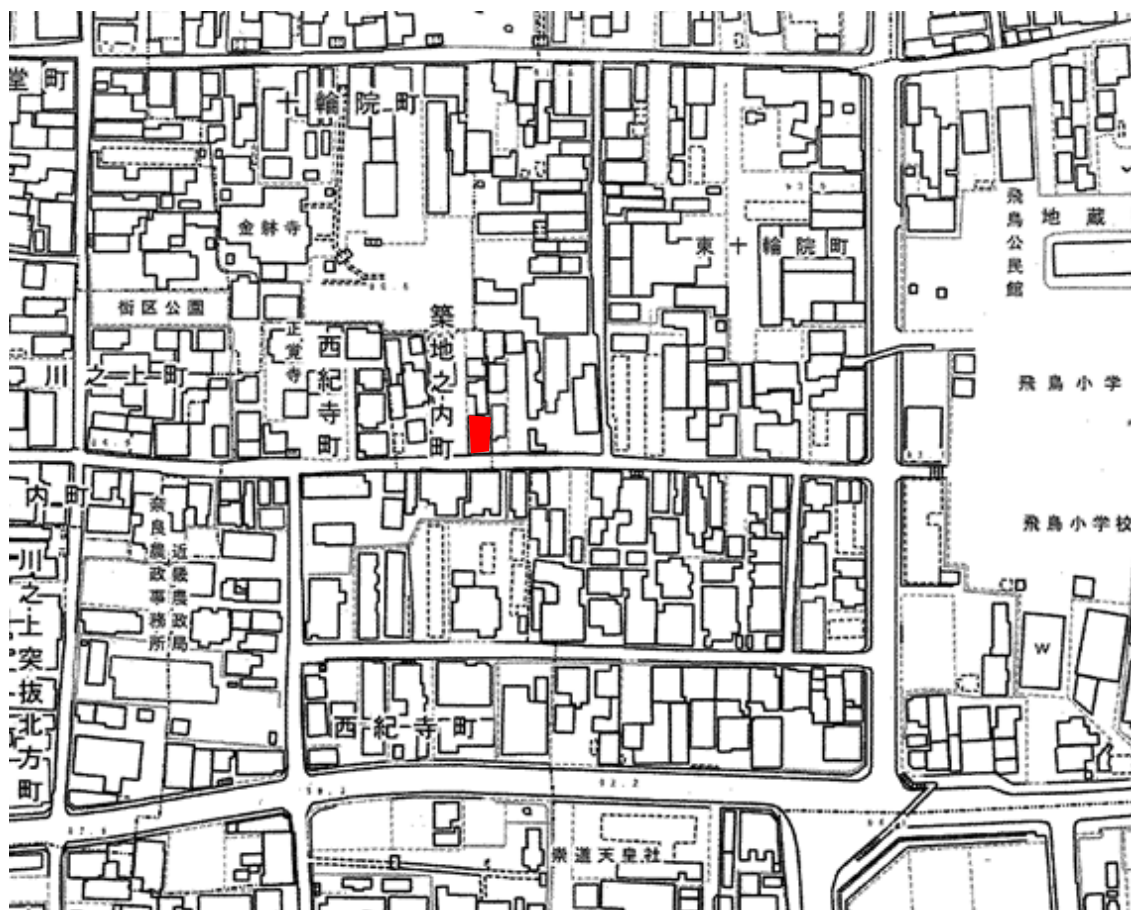
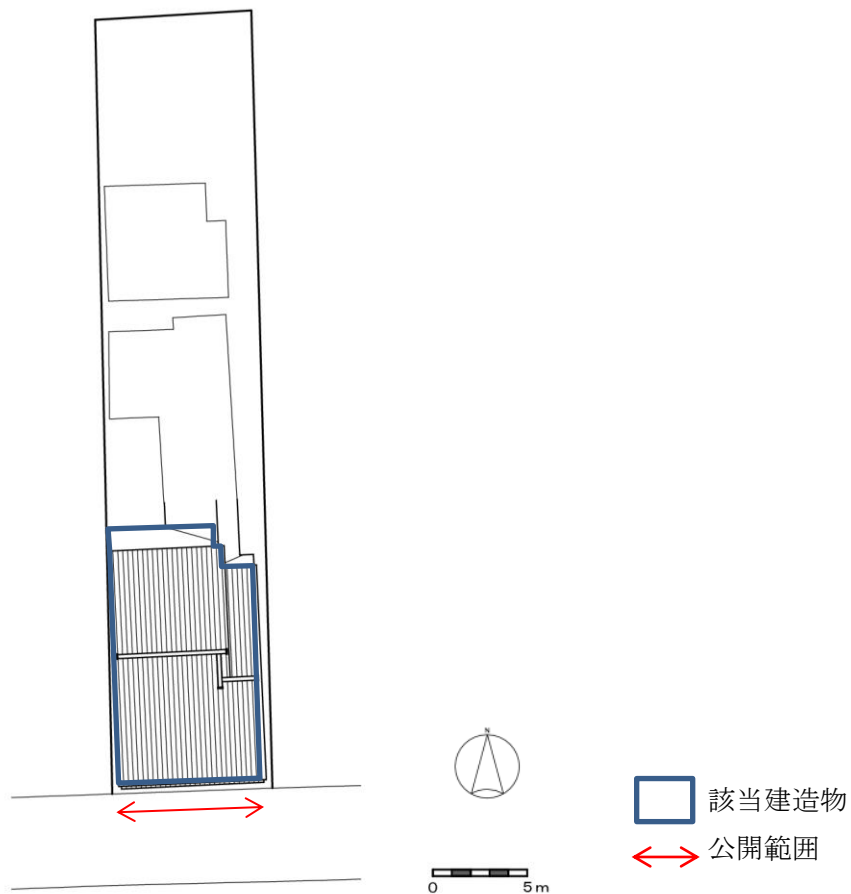


奈良市歴史的風致形成建造物

| | | | | |
|-------------------|--|--------------|----------------|--------------------|
| 指定番号 | 2 | 名称 | 山賀家住宅 | |
| 指定年月日 | H30.2.21 | 所在地 (指定地) | 奈良市築地之内町 37 番地 | |
| 指定建造物 | 主屋 | 建築年代・概要 | 大正 15 年 | 木造 2 階建、切妻造、平入、棧瓦葺 |
| 位置 ・ 歴史 | <p>当地は奈良町の南部に位置する築地之内町の飛び地で、宮大工の山賀熊吉が、大正 11 年から 15 年にかけて手がけた自宅である。熊吉は、法隆寺の修理や広島県の竹林寺三重塔の東京椿山荘移築事業に携わったとされるほか、国立奈良女子大学、飛鳥小学校校舎の建築、奈良町にぎわいの家の棟梁も務めるなど奈良町でも活躍した大工で、当住宅は仕事の合間に時間をかけて建てたと伝わる。</p> | | | |
| 建物特徴 ・ 改修履歴 | <p>主屋は、東西道路に南面して建つ本 2 階建の町家で、外壁は黒漆喰塗を基調とし、開口部には各種格子を用いる。上屋は出桁で軒を受け、両端の庇上には袖卯建を設ける。内部は東端 1 間を敷地奥まで続く通路とするのが特徴である。全体的に質の良い丁寧な造りで、後世の改造が少なく、保存状態も良い。</p> <p>(改修等) 平成 5 (1993) 袖壁修理、漆喰塗替 平成 11 (1999) 屋根葺替 平成 16 (2004) 西面板金替え、格子塗替等補修 平成 29 (2017) 木部塗装塗替、卯韃の意匠復原、建具修理、外部土間修理、他。</p> | | | |
| 活用 | 住宅として活用 | | | |
| 価値 | <p>現代まで大切に住み継がれており、町家の暮らしが作りだす歴史的風致の維持・向上に寄与する建造物である。</p> | | | |



奈良市歴史的風致形成建造物



付近見取図